



2022年度 第1四半期決算報告

2022年8月4日

日清食品ホールディングス株式会社

(証券コード：2897)

決算説明会開催日：2022年8月4日

2022年度 第1四半期 決算ハイライト

- 売上収益：3事業いずれも増収。海外事業が全体を牽引し、連結で2桁増を達成
- 既存事業コア営業利益：コスト上昇を、増収や生産効率改善等によりカバーし増益確保
- 新規事業：完全メシ（5種類）販売開始（5/30～）、1ヵ月で100万食突破

	<u>第1四半期 実績</u>		<u>通期業績予想</u>	
		前期比		前期比
売上収益	1,493億円	+ 12.7%	5,950億円	+ 4.4%
既存事業コア営業利益	134億円	+ 1.3%	520億円	+ 4.9%
国内即席めん事業	86億円	+ 7.2%	340億円	+ 2.9%
国内非即席めん事業	18億円	△19.6%	71億円	+ 9.7%
海外事業	41億円	+ 7.1%	160億円	+17.2%

連結決算サマリー

価格改定及び為替影響も加わり、海外事業が全体を牽引、+12.7%の増収を達成
 既存事業コア営業利益は、資材等コスト増を価格改定等で吸収し、増益確保

単位：億円	2022年度 第1四半期 決算開示ベース			2022年度 第1四半期 為替一定ベース		
	実績	前期比		実績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
売上収益	1,493	+ 168	+ 12.7%	1,411	+ 86	+ 6.5%
既存事業コア営業利益	134	+ 2	+ 1.3%	129	△ 4	△ 2.7%
営業利益	133	+ 0	+ 0.1%	127	△ 6	△ 4.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	75	△ 4	△ 4.6%	72	△ 7	△ 9.4%
既存事業コア営業利益率	9.0%	△ 1.0pt		9.1%	△ 0.9pt	
営業利益率	8.9%	△ 1.1pt		9.0%	△ 1.0pt	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益率	5.0%	△ 0.9pt		5.1%	△ 0.9pt	

セグメント別：決算サマリー

売上収益は海外事業が大幅増、国内事業も底堅い需要を背景に増収を確保
国内即席めん事業と海外事業は増益、国内非即席めん事業はコスト増により、減益着地

国内即席めん事業

日清食品のミックス改善等により、増収
コスト増を増収等によりカバーし、増益

国内非即席めん事業

好調な菓子事業により増収も、資材高騰
により、減益

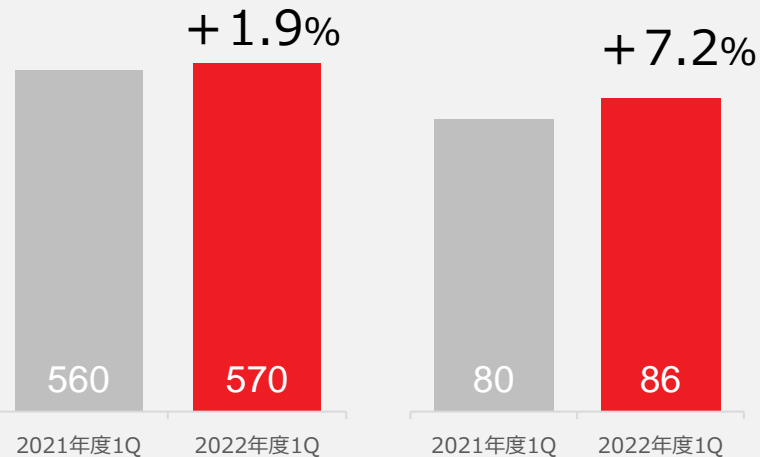
海外事業

全地域で2桁の増収（米州地域+48%）
コスト増を吸収し、増益

(億円)

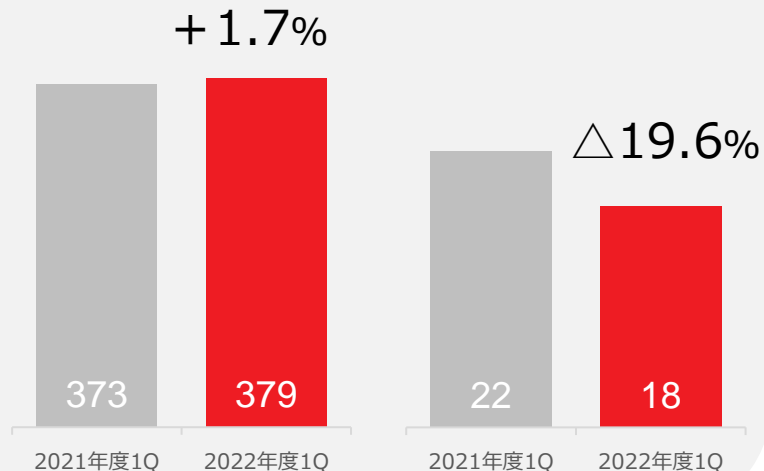
売上収益

コア営業利益



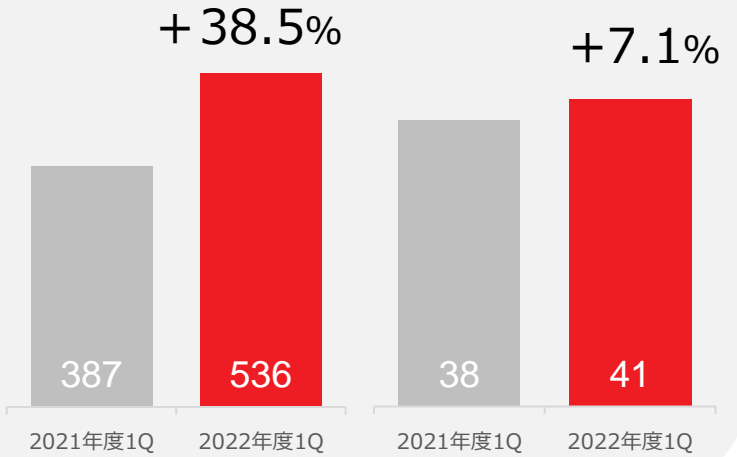
売上収益

コア営業利益



売上収益

コア営業利益



セグメント別 売上収益実績

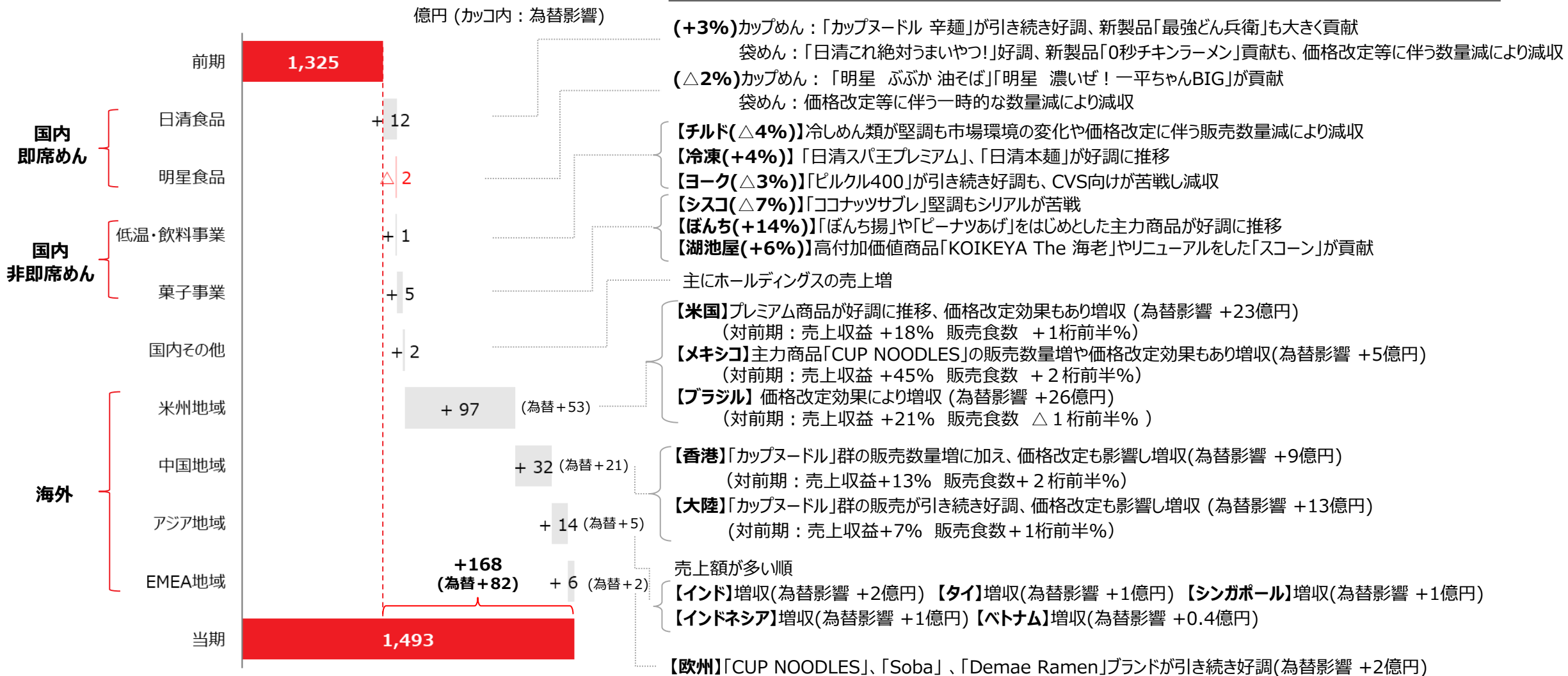
前期比2桁成長となった海外事業を中心に、底堅い需要に対応、ほぼ全てのセグメントで増収

単位：億円	2022年度 第1四半期 決算開示ベース			2022年度 第1四半期 為替一定ベース		
	業績	前期比		業績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	478	+ 12	+ 2.6%	478	+ 12	+ 2.6%
明星食品	93	△ 2	△ 1.6%	93	△ 2	△ 1.6%
国内即席めん事業	570	+ 11	+ 1.9%	570	+ 11	+ 1.9%
低温・飲料事業	204	+ 1	+ 0.7%	204	+ 1	+ 0.7%
菓子事業	176	+ 5	+ 2.9%	176	+ 5	+ 2.9%
国内非即席めん事業	379	+ 6	+ 1.7%	379	+ 6	+ 1.7%
国内その他	7	+ 2	+ 40.8%	7	+ 2	+ 40.8%
国内事業 計	957	+ 19	+ 2.0%	957	+ 19	+ 2.0%
米州地域	299	+ 97	+ 47.9%	246	+ 43	+ 21.5%
中国地域	155	+ 32	+ 26.5%	133	+ 11	+ 9.0%
アジア地域	48	+ 14	+ 41.0%	42	+ 8	+ 25.0%
EMEA地域	34	+ 6	+ 20.8%	33	+ 4	+ 15.4%
海外事業 計	536	+ 149	+ 38.5%	454	+ 67	+ 17.4%
連結 計	1,493	+ 168	+ 12.7%	1,411	+ 86	+ 6.5%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります

セグメント別 売上収益貢献度 (前期比・決算開示ベース)

主な要因*



* 海外に関するコメント及び前期比は、すべて現地通貨ベースの売上収益に基づいて記載しております

セグメント別 コア営業利益実績

日清食品、米州地域、中国地域セグメントで増益を達成し、既存事業コア営業利益は増益確保

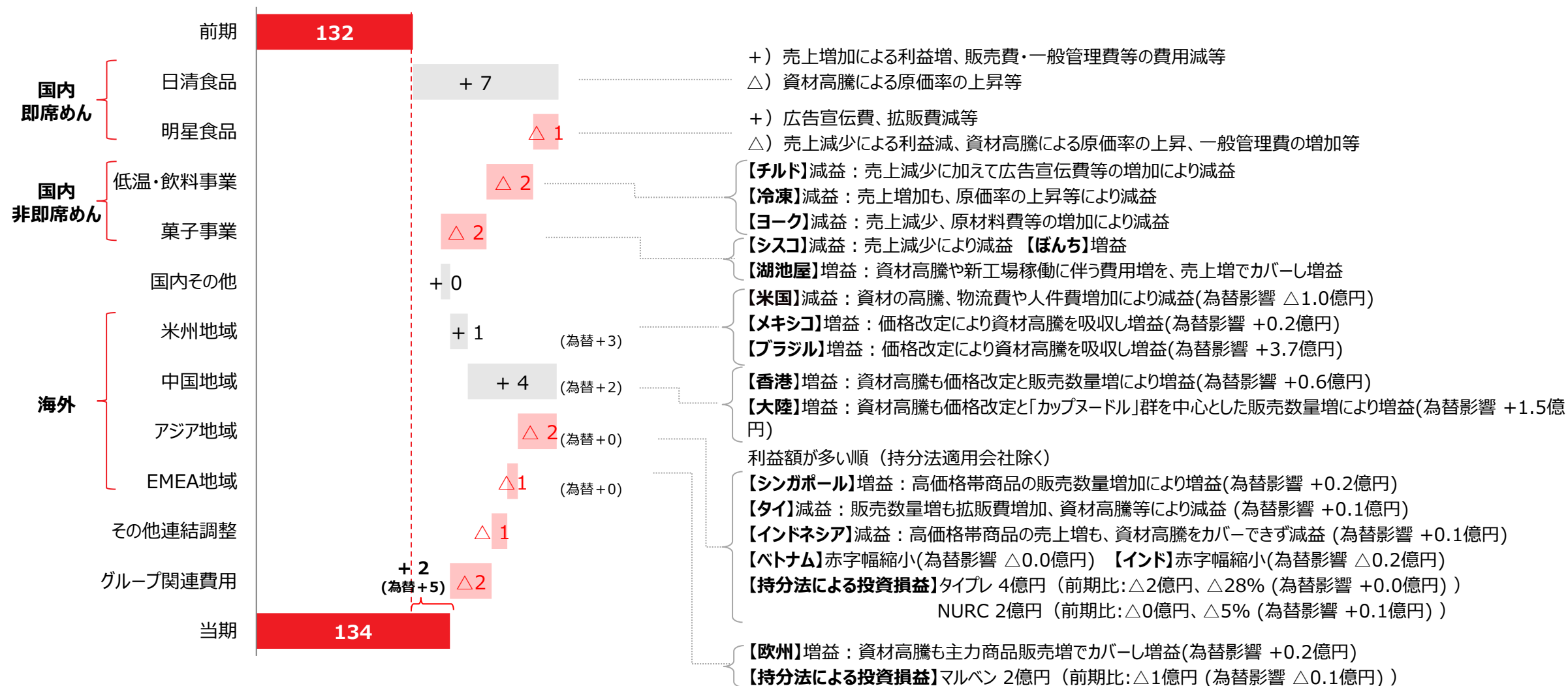
単位：億円	2022年度 第1四半期 決算開示ベース					2022年度 第1四半期 為替一定ベース		
	営業利益	その他 収支	コア営業利益	前期比		コア営業利益	前期比	
				増減額	増減率		増減額	増減率
日清食品	77	0	77	+ 7	+ 10.0%	77	+ 7	+ 10.0%
明星食品	9	0	9	△ 1	△ 12.2%	9	△ 1	△ 12.2%
国内即席めん事業	86	0	86	+ 6	+ 7.2%	86	+ 6	+ 7.2%
低温・飲料事業	10	0	10	△ 2	△ 18.1%	10	△ 2	△ 18.1%
菓子事業	8	△ 0	8	△ 2	△ 21.5%	8	△ 2	△ 21.5%
国内非即席めん事業	18	0	18	△ 4	△ 19.6%	18	△ 4	△ 19.6%
国内その他	6	0	6	+ 0	+ 8.0%	6	+ 0	+ 8.0%
国内事業 計	110	1	110	+ 2	+ 1.7%	110	+ 2	+ 1.7%
米州地域	13	0	13	+ 1	+ 7.2%	10	△ 2	△ 18.1%
中国地域	19	4	15	+ 4	+ 38.4%	13	+ 2	+ 19.4%
アジア地域	8	0	8	△ 2	△ 18.5%	8	△ 2	△ 20.6%
EMEA地域	5	△ 0	5	△ 1	△ 9.1%	5	△ 1	△ 10.7%
海外事業 計	44	3	41	+ 3	+ 7.1%	36	△ 3	△ 6.9%
国内・海外事業 計	155	4	151	+ 5	+ 3.1%	145	△ 1	△ 0.6%
その他連結調整	△ 1	△ 0	△ 1	△ 1	-	△ 1	△ 1	-
グループ関連費用	△ 15	-	△ 15	△ 2	-	△ 15	△ 2	-
既存事業 計	138	4	134	+ 2	+ 1.3%	129	△ 4	△ 2.7%
新規事業	△ 6	△ 0	△ 6	△ 3	-	△ 6	△ 3	-
連結 計	133	4	129	△ 1	△ 1.0%	123	△ 7	△ 5.1%

* 中国地域の実績は、日清食品 HD の連結方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります

セグメント別 既存事業コア営業利益貢献度 (前期比・決算開示ベース)

億円 (カッコ内：為替影響)

主な要因*



* 海外に関するコメント及び前期比は、すべて現地通貨ベースのコア営業利益に基づいて記載しております

既存事業コア営業利益の増減要因（前期比・決算開示ベース）



* 国内その他セグメントのコア営業利益増減は「H：その他」に含めて表示

** 別途「調整額」として前期比△3億円の差異発生

【増減要因の算出法】

① 限界利益 (A,B,C)	= (当期の売上収益 × 前期の売上収益比率) - 当期費用	* 売上収益に販売費控除額を足し戻した額を元に算定
② 固定費 (D,E,F)	= 前期費用 - 当期費用	
③ その他 (G)	= 前期実績 - 当期実績	
(H)	= 国内その他セグメントのコア営業利益増減	

Appendix

2022年度 通期連結業績予想 (ロシア・ウクライナ情勢を含まず)

既存事業コア営業利益ベースで520億円を目指す。IFRS営業利益は、引き続き積極的な新規事業投資を行っていくことにより470~495億円の水準となる見通し

売上収益	5,950 億円	<ul style="list-style-type: none"> 原則として既存事業からあがる売上収益を指す
既存事業コア営業利益	520 億円	<ul style="list-style-type: none"> ロシア・ウクライナ情勢を含まず Mid-single Digit中位である+5%成長に相当 新規事業投資を既存事業コア営業利益の5~10%にて実施 減損や特別利益等のその他収支は見込まず
営業利益	470 ~ 495 億円	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業投資を既存事業コア営業利益の5~10%にて実施 減損や特別利益等のその他収支は見込まず
親会社の所有者に帰属する 当期利益	310 ~ 330 億円	<ul style="list-style-type: none"> 営業利益と同様、レンジベースでの予想
EPS	303 ~ 322 円/株	<ul style="list-style-type: none"> 自己株式控除後株式数1.02億株前提 ただし機動的な自己株式取得を継続的に検討

2022年度 セグメント別予想

全ての事業セグメントで、2021年度実績と比較し増収増益を目指す

億円	売上収益 (IFRS)				コア営業利益 (Non-GAAP)			
	2022年度 予想	前期 (2021年度 実績)		2022年度 予想	前期 (2021年度 実績)			
		売上収益	前期比		コア営業利益	前期比		
日清食品	2,180	2,108	+ 72	+ 3.4%	315	306	+ 9	+ 3.0%
明星食品	390	379	+ 11	+ 2.8%	25	24	+ 0	+ 1.8%
国内即席めん事業	2,570	2,487	+ 83	+ 3.3%	340	330	+ 10	+ 2.9%
低温・飲料事業	830	809	+ 21	+ 2.6%	35	33	+ 2	+ 5.5%
菓子事業	715	690	+ 25	+ 3.6%	36	32	+ 4	+ 14.0%
国内非即席めん事業	1,545	1,499	+ 46	+ 3.1%	71	64	+ 6	+ 9.7%
国内その他	25	22	+ 3	+ 15.1%	10	19	△ 9	△ 46.5%
国内 計	4,140	4,008	+ 132	+ 3.3%	420	413	+ 7	+ 1.7%
米州地域	935	873	+ 62	+ 7.1%	35	29	+ 6	+ 18.8%
中国地域	590	555	+ 35	+ 6.3%	65	61	+ 4	+ 5.7%
アジア地域	170	148	+ 22	+ 15.0%	46	41	+ 5	+ 11.3%
EMEA地域	115	114	+ 1	+ 1.2%	14	4	+ 10	+ 228.6%
海外 計	1,810	1,689	+ 121	+ 7.1%	160	136	+ 23	+ 17.2%
国内・海外 計	5,950	5,697	+ 253	+ 4.4%	580	549	+ 31	+ 5.6%
その他連結調整						△ 54		
グループ関連費用					△ 60	0	△ 6	-
既存事業 計	5,950	5,697	+ 253	+ 4.4%	520	496	+ 24	+ 4.9%
新規事業					△ 25 ~ △ 50	△ 29	+ 4 ~ △ 21	-
連結 計	5,950	5,697	+ 253	+ 4.4%	470 ~ 495	466	+ 4 ~ + 29	+ 0.8% ~ + 6.1%

* 中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想数値は、日清食品HDが独自に設定したものです

2022年度の価格改定の状況について（国内）

会社名	主な対象製品	価格改定実施日	価格改定率
日清食品	即席袋めん、即席カップめん 即席カップライス、即席カップスープ	2022年6月1日出荷分から	希望小売価格の5～12%アップ
明星食品	即席袋めん、即席カップめん 即席カップスープ	2022年6月1日出荷分から	希望小売価格の6～12%アップ
	オープンプライス商品		出荷価格の11%～14%アップ
日清食品チルド	チルドめん各種（一部製品は価格を据え置く）	2022年3月1日納品分から	希望小売価格の6～12%アップ
日清食品冷凍	冷凍めん製品の一部	2022年3月1日納品分から	出荷価格の6～13%アップ
日清ヨーク	乳酸菌飲料およびドリンクヨーグルト	2022年6月5日出荷分から	出荷価格の5～14%アップ
日清シスコ	「ごろグラ」シリーズ	2022年6月13日発売分から	内容量7～14%程度減
	「ココナッツサブレ」シリーズ等	2022年9月5日・9月20日・ 10月3日発売分から	内容量13～47%減
湖池屋	ポテトチップス系製品各種（一部の製品を除く）	2022年2月1日及び4月1日	6～11%程度アップ
	スリムバッグシリーズ等	2022年6月6日発売分から	内容量6～9%減
	ポテトチップス系製品各種（一部の製品を除く）	2022年9月1日以降	改定率4～9%
ぼんち	「綱揚あられ」「ポンスケ」ブランド	2022年4月1日出荷分から	内容量6～11%減

2022年度の主な価格改定の状況について（海外）

米州地域	主な対象製品	価格改定実施日
米国	袋めん、カップめん	2022年8月
ブラジル	袋めん、カップめん	2022年5月

中国地域	主な対象製品	価格改定実施日
香港	出前一丁、合味道、U.F.O.	2022年4月

アジア地域	主な対象製品	価格改定実施日
シンガポール	袋めん、カップめん	2022年7月
インド	袋めん	2022年4月
ベトナム	袋めん	2022年6月
インドネシア	袋めん、カップめん	2022年6月

EMEA地域	主な対象製品	価格改定実施日
欧州	袋めん、カップめん	2022年1月～4月

本資料に掲載しております当社グループの計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、「市場における価格競争の激化」、「事業環境をとりまく経済動向の変動」、「為替の変動」、「資本市場における相場的大幅な変動」他、様々なりスク及び不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきください。

また、本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさっていただきますようお願い申し上げます。

- このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ウェブサイト「決算短信・補足資料・決算説明会関連資料」に掲載しています
<https://www.nissin.com/jp/ir/library/>
- この資料の金額は、千円単位で算出し、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が一致しない場合があります
- 当該資料の決算期は原則として、20YY年4月1日～20YY年3月31日を「20YY年度」または「YY年度」とします
- 中国地域の実績は、日清食品ホールディングス連結の方針に基づくもので、香港日清の開示とは異なる可能性があります。また、中国地域の戦略、それに基づく各種目標ならびに業績予想は日清食品ホールディングスが独自に設定したものです



日清食品ホールディングス株式会社